

日本混相流学会 2010 年度第 1 回理事会・議事録

日時：平成 22 年 7 月 19 日(月)11:50-12:50

静岡大学 浜松キャンパス 総合研究棟 10 階会議室

出席者(理事)：三島嘉一郎(会長)、富山明男(副会長)、功刀資彰(副会長)、木倉宏成(情報部会
会長)、辻本公一(企画部会長)、大川富雄(国際部会長)、齊藤泰司(総務部会長)、大参達也(北海道
地区担当理事)、中野政身(東北地区担当理事)、岡本孝司(関東地区担当理事)、小泉安郎(北陸・信
越地区担当理事)、加藤泰生(中国・四国地区担当理事)

出席者(オブザーバー)：社河内敏彦(前会長)、西山秀哉(論文審査委員長)、末包哲也(前中国・四
国地区担当理事)、近藤健(事務局)

議題と配布資料：

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認 | [資料 2010-1-01] |
| 2. 前回議事録の確認 | [資料 2010-1-02] |
| 3. 今年度理事会開催スケジュールについて | [資料 2010-1-03] |
| 4. 委員会委員 | [資料 2010-1-04] |
| 5. 地区代表の選出について | [資料 2010-1-05] |
| 6. 学会賞の選考準備について | [資料 2010-1-06] |
| 7. 情報部会報告 | [資料 2010-1-07] |
| 8. その他 | |

議事：

1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認
出席した理事・役員の自己紹介を行った。
2. 前回議事録の確認
 - ・齊藤総務部会長から資料 2010-1-02 に基づき 2009 年度第 4 回議事録の確認があった。
 - ・三島会長から、論文審査委員長の任期について補足説明があり、本来は 3 年以上であることが望ましいが、佐田富前論文審査委員長が任期途中の交代であることから、西山論文審査委員長の任期に関しては 2 年との説明があった。
3. 今年度理事会開催スケジュールについて
 - ・2010 年度理事会のスケジュール調整を行い、下記の通り計 5 回開催することとした。
 - － 第 1 回：平成 22 年 7 月 19 日 (月) 11:50-12:50 静岡大学
 - － 第 2 回：平成 22 年 9 月 23 日 (木) 13:00-17:00(大阪)
 - － 第 3 回：平成 22 年 12 月 11 日 (土) 13:00-17:00(東京)
 - － 第 4 回：平成 22 年 3 月 5 日 (土) 13:00-17:00(大阪)
 - － 第 5 回：平成 22 年 7 月 2 日 (土) 13:00-17:00(東京)

ただし、12月の理事会日程を確保したが、実際に開催するかについては次回理事会までに調整することとした。

- ・旅費支給額の計算方法について、昨年度の資料を確認した。

4. 委員会委員

- ・齊藤総務部会長から資料 2010-1-04 に基づき各種委員会委員長について説明があり、承認した。

5. 地区代表の選出について

- ・齊藤総務部会長から資料 2010-1-05 に基づき、評議員を推薦する地区代表者の説明があり、評議員、監事選挙までのスケジュールを確認した。

6. 学会賞の選考準備について

- ・三島会長より、2010年度学会賞選考委員長として佐田富道雄氏が推薦され、理事会として承認した。

- ・表彰規定に基づき、2010年度名誉会員選考委員長を佐田富筆頭副会長が担当することを確認した。

- ・富山理事より、名誉会員推薦については選考基準を満たす会員を理事会にて推薦できるようにしたい旨の提案があった。これについては、必要ならば会則および内規を見直すこととした。

7. 情報部会報告

木倉情報部会長から資料 2010-1-07 に基づき、以下の説明があった。

- ・新旧委員、編集委員会開催日程等の説明があった。
- ・学会誌の内容検討および編集委員会の日程について説明があった。

また、資料 2010-1-02 の情報部会関連報告に基づき、以下の報告があった。

- ・年会講演会の講演論文を「混相流」へ投稿する案内をメールにて回覧して審議いただく。
- ・海外からの投稿に対応した、英語版の投稿規程は準備中であり、次回理事会にて審議していただく。
- ・JST アーカイブについては解説などを含める等の補足説明があった。

8. その他

三島会長より、法人化等に関して以下の提案があり、承認された。

- ・法人化に関する検討委員会を作り、専門家の意見を聞くとともに、法人化に伴うメリットやデメリットなどの情報を整理する。検討委員会の委員は、会長、副会長、総務委員長、岡本理事、および事務局とする。

- ・混相流シンポジウムについての開催のあり方、および英文 Journal 発行に関しては継続審議することを確認した。なお、混相流シンポジウムについては、適当な時期に懇談会を開き、学術会議委員と理事会との間で意見交換する。

- ・学生会担当については川原理事にお願いしたが、来年度の役員体制を考慮して、学生会実施に際しては阪大吉田憲司准教授に代理をお願いし負担軽減の措置をとる。

以上

総務委員長：齊藤泰司